

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-141048

(43)公開日 平成5年(1993)6月8日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

E 0 4 D 1/16

識別記号

庁内整理番号

D 9025-2E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数3(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平3-302907

(22)出願日 平成3年(1991)11月19日

(71)出願人 000001052

株式会社クボタ

大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号

(72)発明者 山口 尚夫

兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号 株式会社

クボタ技術開発研究所内

(72)発明者 黒石 智

兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号 株式会社

クボタ技術開発研究所内

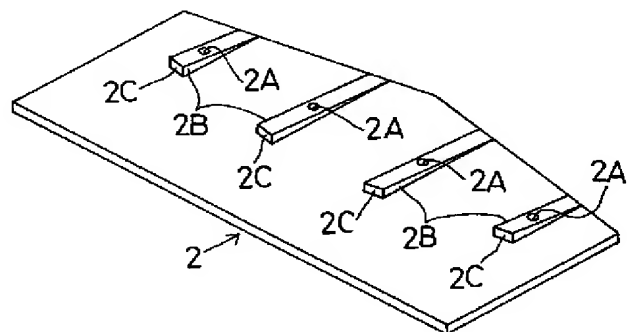
(74)代理人 弁理士 北村 修

(54)【発明の名称】 屋根葺材

(57)【要約】

【目的】 施工性及び耐風性能を向上した屋根葺材の提供を目的とする。

【構成】 野地板1に沿って下方から上方へ重ね配置する屋根葺材であって、前記屋根葺材のうち前記野地板1に直接に対向する部位に前記野地板1との間に生じる空間を充填する部分2Bを形成して構成する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 野地板（1）に沿って下方から上方へ重ね配置する屋根葺材であって、前記屋根葺材のうち前記野地板（1）に直接に対向する部位に前記野地板（1）との間に生じる空間を充填する部分（2B）を形成してある屋根葺材。

【請求項2】 前記空間を充填する部分（2B）に釘孔（2A）を形成してある請求項1記載の屋根葺材。

【請求項3】 前記空間を充填する部分（2B）が下方に配置した屋根葺材に対する位置決め用のガイド部分となる請求項1又は2記載の屋根葺材。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、住宅家屋等に用いられる屋根葺材の構造に関する。

## 【0002】

【従来の技術】この種の屋根葺材は、一般に表裏とも平坦に形成してあり、野地板に沿って下方から上方へ重ね配置して葺くもので、上方の屋根葺材に覆われる部分に形成された釘孔を介して野地板に釘打ち固定していた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述の従来技術による屋根葺材を用いて屋根を葺く際には、図6に示すように、屋根葺材のうち下方の屋根葺材に重ね合わせた部分以外の部分と野地板との間に空間が生じる。このため、屋根葺作業中にこの重ね合わせ部分にかかる大なる局所的モーメントで踏み割れが生じたり、図7に示すように、釘打ちが強すぎて下方の屋根葺材の上端部を中心に小口が上方に撓むことにより、この重ね合わせ部分に風が吹き込み、風力が強い場合には屋根葺材が飛散するといった虞がある。本発明の目的は上述した従来欠点を解消する点にある。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため、本発明による屋根葺材の特徴構成は、屋根葺材のうち前記野地板に直接に対向する部位に前記野地板との間に生じる空間を充填する部分を形成してあることにある。前記空間を充填する部分に釘孔を形成してあることが好ましい。前記空間を充填する部分が下方に配置した屋根葺材に対する位置決め用のガイド部分となることが好ましい。

## 【0005】

【作用】野地板に沿って下方から上方へ重ね配置された屋根葺材のうち前記野地板に直接に対向する部位に前記野地板との間に生じる空間を充填する部分を形成してあるので、この部分が補強材として働き踏み割れを防止するとともに、釘打ちの際に下方の屋根葺材の上端部を中心に小口が上方に撓むことを防止する。そして、前記空間を充填する部分に釘孔を形成してある場合には、釘打ちの際に打ち込み力が強くてもそれによって割れが生じ

ることを防ぐことができる。さらに、前記空間を充填する部分が下方に配置した屋根葺材に対する位置決め用のガイド部分となるように形成すれば、屋根葺材の位置合わせが容易になり施工効率が上昇する。

## 【0006】

【発明の効果】本発明によれば、屋根葺作業中の踏み割れが生じることなく施工性のよい屋根葺材を、耐風性能が高い状態で施工できる屋根葺材を提供できるようになった。

## 【0007】

【実施例】以下に本発明による屋根材の実施例を説明する。図1乃至図4に示すように、平面視が“五角形”の形状をしたスレート系屋根葺材2を、傾斜姿勢にある野地板1に下方から上方にその傾斜方向に沿って一部が重なるように、且つ、下方の屋根葺材2に対して上方の屋根葺材2の位置を左右にずらせて配置して葺き、棟A、軒先B、けらばC等、屋根の端部に所謂役物といわれる板金製或いはスレート系の補強具3、例えば、棟包3A、軒先水切り3B、けらば水切り3C、雨押え等を釘打ちして取り付けて屋根を構成してある。即ち、屋根葺材2と補強具3とで屋根材を構成してある。

【0008】前記屋根葺材2の裏面には、図1に示すように、下方の屋根葺材2との重なり部分以外の前記野地板1に直接に対向する部位に、前記野地板1との間に生じる空間を充填する突起部分2Bを形成するとともに、前記野地板1に釘打固定する孔2Aを上方の屋根葺材2との重合部に横方向に4箇所並べて形成してある。詳述すると、前記突起部分2Bは前記孔2Aの形成位置を含むように、縦方向に四本形成してあり、各突起部分2Bは、その下面が前記野地板1に直接接触するように上方向次第に低くなるように形成してあり、一番高く形成された下端部は2Cは、下方に葺かれた屋根葺材2に対する上下左右の位置決め用のガイド部分としての働きをするべく、下方の屋根葺材2の五角形の頂点からの稜線に沿った形状に形成されている。

【0009】以下に別実施例を説明する。先の実施例では、屋根葺材2の屋根葺材のうち前記野地板1に直接に対向する部位に前記野地板1との間に生じる空間を充填する突起部分2Bを縦方向に四本形成したものを説明したが、図5に示すように、突起部分2Bとしては、四箇所の前記孔2Aを含む周囲に部分的に形成してあってもよく、又、下方の屋根葺材2との重なり部分以外の前記野地板1に直接に対向する部位に全面に形成してあってもよい。又、下方に葺かれた屋根葺材2に対する上下左右の位置決め用のガイド部分として、同じく図5に示すように、下方に位置する屋根葺材2の五角形の頂点Pからの稜線に線状の突起2Cを位置決め用の為形成してもよい。さらには、屋根葺材2の形状は五角形のものに限定するものではなく任意の形状であってもよい。この場合、下方に葺かれた屋根葺材2に対する上下左右の位

3

4

置決め用のガイド部分はそれに見合った形状とすればよい。更に、屋根葺材はスレート系に限定するものではなく、和がわら、洋がわら、金属板等、任意の屋根葺材に適用できる。

【0010】尚、特許請求の範囲の項に図面との対照を便利にする為に符号を記すが、該記入により本発明は添付図面の構成に限定されるものではない。

【図面の簡単な説明】

【図1】屋根葺材の裏側から見た斜視図

【図2】屋根の要部の平面図

【図3】屋根の要部の断面図

【図4】屋根の斜視図

【図5】別実施例を示す屋根葺材の裏側から見た斜視図

【図6】従来例を示す屋根の断面図

【図7】従来例を示す屋根の断面図

【符号の説明】

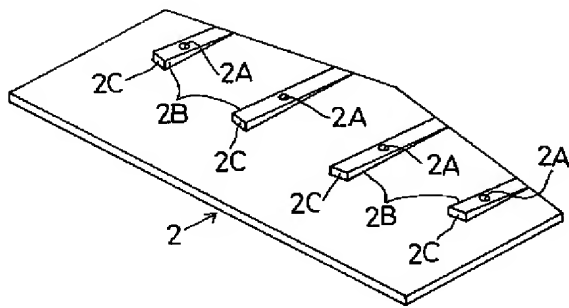
1 野地板

2 B 空間を充填する部分

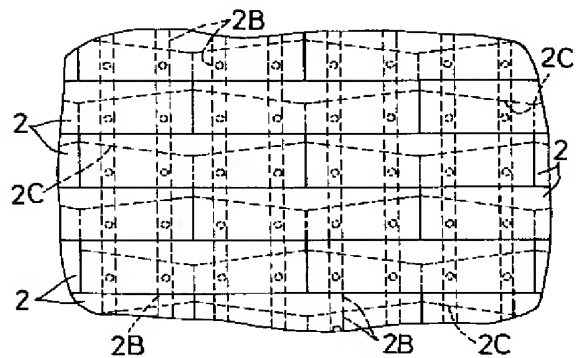
2 A 釘孔

10

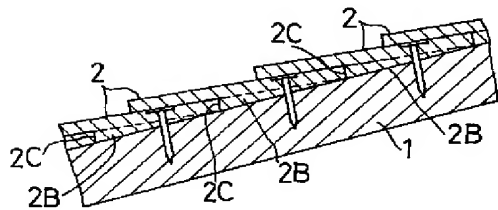
【図1】



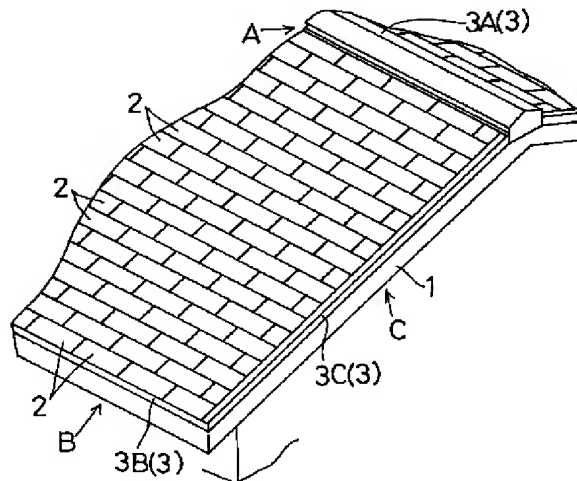
【図2】



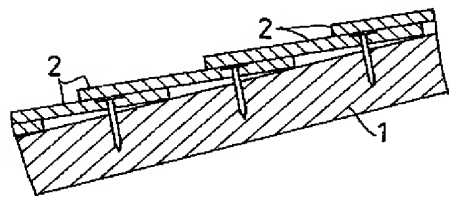
【図3】



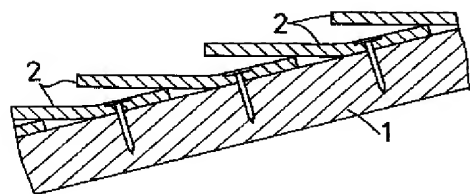
【図4】



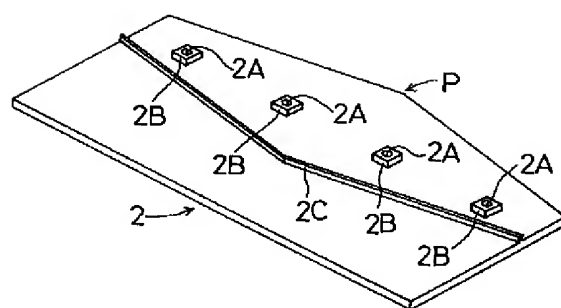
【図6】



【図7】



【図5】



**PAT-NO:** JP405141048A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 05141048 A  
**TITLE:** ROOFING MATERIAL  
**PUBN-DATE:** June 8, 1993

**INVENTOR-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
YAMAGUCHI, HISAO	
KUROISHI, SATOSHI	

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
KUBOTA CORP	N/A

**APPL-NO:** JP03302907  
**APPL-DATE:** November 19, 1991

**INT-CL (IPC):** E04D001/16

**US-CL-CURRENT:** 52/518

**ABSTRACT:**

**PURPOSE:** To prevent cracking due to stepping during roofing operation by forming a section filling a space generated between a batten and a position directly faced oppositely to the batten to the position in the roofing material.

**CONSTITUTION:** Projecting sections 2B filling

spaces formed among a batten and positions directly faced oppositely to the batten except a superposing section with a roofing material 2 in a lower section are formed at the positions in four in the longitudinal direction while lower end sections 2C are most heightened in the rear of the roofing material 2. Holes 2A fixed to the batten by nailing are shaped to a superposing section with the roofing material 2 in an upper section at four positions in the lateral direction. Accordingly, the upward deflection of a header centering around the upper end section of the roofing material 2 of the lower section at the time of nailing is prevented by the projecting sections 2B, thus obviating cracking due to stepping.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio